

メルセデス・ベンツのココが好き!

作り込みの良さが  
各所に感じられるところ

セールス    メカニック    ユーザー

●メルセデス・ベンツ専門修理工場

セントラルオート  
児玉 善一郎さん

●住所：埼玉県八潮市八条 1179  
●☎：048-930-6800  
●URL：http://www.central-auto.net/



角目世代のメルセデスのサブフレームが溶接されており、高いボディ剛性を生み出す重要な部分となっている。



スペースが広く、ラジエター回りもシンプルなので、整備箇所へのアクセスが良い。



ゴムパーツ一つからでも部品が出るのは、メルセデスの魅力。OEMも豊富にある。

メ

カニツクの立場からメルセデス・ベンツを見ると、どこも頑丈に作られているのが分かります。とくに角目世代はネジ一つをとつても頑丈ですし、サブフレームもしっかりと溶接されています。そういったところがボディ剛性の高さに繋がっているんですね。往年のメルセデスらしいガッチリとしたフィリングは、そうした作り込みの良さも大きく関わっているのだと思います。

作りの良さは整備性にも現れていますよね。整備しやすい箇所にアクセスしやすいんです。外す部品が少なくアクセスできるということは、メンテナンスのことまで考えて作られているということだ

でしょう。この時代のメルセデスはメンテナンスをしながら長く乗るという思想が貫かれていますから、整備している「なるほど」と感じる場面も多いです。ドイツ車らしい合理的な作りがあちこちに見られます。

整備をするためには部品が必要ですが、メルセデスは部品の供給が世界ナンバーワンでしょうね。古めのクルマでも、ゴムブッシュやガスケット一つから部品が出ます。タテ目世代のパーツまで出るんですから、すごいですよ。OEMパーツのラインナップも豊富なので、リーズナブルに維持できるのもユーザーさんにとっては嬉しい部分だと思います。メルセデスは趣味

のクルマとして最高の素材だと思えますよ。

個人的にもW124を中心に多くのメルセデスを楽しんできました。今は500Eですが、角目世代は運転しやすく、ハンドリングもナチュラル。長距離を走っても疲れにくいのは、ユーザーの皆さんも感じるところだと思いますが、思ったように動いてくれるところが、疲労の軽減に繋がっているのかな、と。

あとはアナログ世代が大好きなので、どうしても電気的な制御が入ると違和感があるんです。でも、角目世代のメルセデスはダイレクトですし、全てが直感で操作できます。そんなところも好きですね。